



## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月25日

上場会社名 カゴメ株式会社  
 コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜岡 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 長井 進  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東 名

TEL 03-5623-8501

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	48,620	—	1,504	—	1,682	—	693	—
20年3月期第1四半期	52,972	11.4	4,455	47.9	4,241	48.4	2,400	55.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	6.96	—
20年3月期第1四半期	24.10	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	149,697	—	90,584	—	59.3	—	890.69	
20年3月期	135,348	—	90,378	—	65.3	—	887.26	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 88,696百万円 20年3月期 88,355百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	101,000	—	2,800	—	2,900	—	1,100	—	11.05
通期	190,000	△5.2	7,200	△26.9	7,000	△16.3	2,800	△32.8	28.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 99,616,944株 20年3月期 99,616,944株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 35,565株 20年3月期 34,749株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 99,581,899株 20年3月期第1四半期 99,586,693株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月8日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提の仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

前第1四半期（平成19年4月1日～6月30日）は、飲料事業において同年3月発売の「野菜生活100黄の野菜」が発売直後より大ヒットしたため、突出した需要増が形成されました。これに対して当第1四半期（平成20年4月1日～6月30日）は、新発売から一年を経過してその需要が年度に亘り平準化したことで、野菜飲料の売上は前年同期間を大きく下回りました。また、乳酸菌事業において動物性乳酸菌を活用した一部既存商品の終売等により売上が減少いたしました。

利益面につきましては、売上の減少及び原材料コストの高騰等により、営業利益は前年同期比29億50百万円の減少となりました。

この結果、当第1四半期における連結の売上高は、前年同期比8.2%減の486億20百万円、営業利益は前年同期比66.2%減の15億4百万円、経常利益は前年同期比60.3%減の16億82百万円、四半期純利益は前年同期比71.1%減の6億93百万円となりました。

なお、海外事業におきましては、南イタリアのVegitalia S.p.A.について経営再建のため当社執行役員を社長として派遣したことにより、当第1四半期より実質支配力基準に基づき連結子会社としております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末は、総資産が前期末に比べ143億49百万円増加いたしました。

主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が40億82百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース資産」が34億52百万円それぞれ増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の固定資産が31億98百万円増加したことによります。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が45億88百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース債務」が34億75百万円それぞれ増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の増加に伴い「借入金」が47億1百万円増加したことによります。

主な純資産の変動は、剰余金の配当14億93百万円と、四半期純利益6億93百万円により「利益剰余金」が8億円減少したことと、「繰延ヘッジ損益」が11億17百万円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は59.3%、1株当たり純資産は890円69銭となりました。

#### （連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報）

当第1四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、120億91百万円となり、前期末比で9億68百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億8百万円の純収入となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が14億83百万円となったこと、及び売上債権が39億27百万円、たな卸資産が20億76百万円増加したこと（それぞれキャッシュの純支出）、仕入債務が52億50百万円増加したこと（キャッシュの純収入）によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億27百万円の純支出となりました。この主要因は、固定資産の取得により7億98百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億86百万円の純支出となりました。この主要因は、配当金支払額14億23百万円によります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

原材料コストの高騰に対して平成20年7月1日より野菜飲料等の出荷価格を改定いたしました。また、個人消費の伸びが鈍化するなど不透明さを増す足下の経済環境に対応して、積極的な需要拡大策として当第2四半期にはマスメディアを用いた広告宣伝や店頭での販売促進といった各種施策を計画しております。

一方、当第1四半期の結果を受けて、一層の利益獲得を目指すべく売上原価や販売固定費、一般管理費の見直しなどコスト削減を行いますので、その効果が主に当第3四半期以降の業績に現れてまいります。

第1四半期の結果及び上述の計画に基づき、今期の業績予想を下記のように修正いたします。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	108,000	5,200	5,300	2,400	24.10
今回修正予想 (B)	101,000	2,800	2,900	1,100	11.05
増減額 (B-A)	△7,000	△2,400	△2,400	△1,300	—
増減率 (%)	△6.5	△46.2	△45.3	△54.2	—
前中間期実績	110,142	8,161	7,488	4,422	44.41

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	201,000	8,800	8,400	4,000	40.17
今回修正予想 (B)	190,000	7,200	7,000	2,800	28.12
増減額 (B-A)	△11,000	△1,600	△1,400	△1,200	—
増減率 (%)	△5.5	△18.2	△16.7	△30.0	—
前期実績	200,483	9,852	8,366	4,167	41.85

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### ② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

### たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ12百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## ③たな卸資産の処分に係る損失の計上区分

従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上総利益が200百万円減少し、営業利益が112百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## ④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## ⑤リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これにより、売上総利益は28百万円増加し、営業利益は41百万円増加し、経常利益は9百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は89百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## （追加情報）

平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。これにより、営業利益は83百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ90百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,790	5,863
受取手形及び売掛金	30,404	26,322
有価証券	5,338	7,338
商品及び製品	8,844	6,979
仕掛品	27	37
原材料及び貯蔵品	13,016	12,601
その他	13,530	10,234
貸倒引当金	△93	△92
流動資産合計	77,859	69,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,221	14,400
機械装置及び運搬具	17,858	17,283
工具、器具及び備品	876	853
土地	12,184	12,190
リース資産	3,423	—
建設仮勘定	376	152
有形固定資産合計	49,941	44,881
無形固定資産		
のれん	15	19
ソフトウェア	1,568	1,589
その他	469	422
無形固定資産合計	2,054	2,031
投資その他の資産		
投資有価証券	15,963	15,010
その他	4,042	4,303
貸倒引当金	△163	△163
投資その他の資産合計	19,842	19,150
固定資産合計	71,837	66,062
資産合計	149,697	135,348

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,759	14,170
短期借入金	4,515	2,487
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払金	10,799	10,026
未払法人税等	851	162
賞与引当金	1,210	1,839
役員賞与引当金	18	73
その他	2,777	1,048
流動負債合計	40,933	31,807
固定負債		
長期借入金	7,673	5,000
退職給付引当金	2,544	2,520
その他	7,961	5,641
固定負債合計	18,179	13,162
負債合計	59,112	44,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	43,189	43,989
自己株式	△44	△42
株主資本合計	86,864	87,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,585	1,022
繰延ヘッジ損益	1,108	△9
為替換算調整勘定	△861	△323
評価・換算差額等合計	1,832	689
少数株主持分	1,888	2,022
純資産合計	90,584	90,378
負債純資産合計	149,697	135,348

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	48,620
売上原価	26,892
売上総利益	21,727
販売費及び一般管理費	20,222
営業利益	1,504
営業外収益	
受取利息	27
受取配当金	113
持分法による投資利益	84
その他	168
営業外収益合計	394
営業外費用	
支払利息	151
休止固定資産減価償却費	50
その他	14
営業外費用合計	216
経常利益	1,682
特別利益	
固定資産売却益	2
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産処分損	103
リース会計基準適用に伴う影響額	98
特別損失合計	202
税金等調整前四半期純利益	1,483
法人税、住民税及び事業税	773
法人税等調整額	△2
法人税等合計	771
少数株主利益	18
四半期純利益	693

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,483
減価償却費	1,700
リース会計基準適用に伴う影響額	98
受取利息及び受取配当金	△141
支払利息	151
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△741
その他の引当金の増減額 (△は減少)	35
持分法による投資損益 (△は益)	△84
固定資産処分損	103
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,927
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,076
未収入金の増減額 (△は増加)	241
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,250
未払金の増減額 (△は減少)	401
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,278
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	769
その他の増加額	32
その他の減少額	△161
小計	1,856
利息及び配当金の受取額	139
利息の支払額	△107
法人税等の支払額	△280
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△2
有価証券の売却による収入	103
固定資産の取得による支出	△798
固定資産の除却による支出	△13
固定資産の売却による収入	7
貸付けによる支出	△87
貸付金の回収による収入	56
その他の増加額	7
その他の減少額	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727



(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入れによる収入	1,370
借入金の返済による支出	△1,439
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△238
配当金の支払額	△1,423
少数株主への配当金の支払額	△54
自己株式の取得による支出	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△983
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15
現金及び現金同等物の期首残高	13,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,091

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)				
	食品(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	48,130	490	48,620	—	48,620
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2,791	2,792	(2,792)	—
計	48,131	3,281	51,413	(2,792)	48,620
営業費用	46,846	3,061	49,908	(2,792)	47,115
営業利益	1,284	220	1,504	—	1,504

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 食品……………飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2) その他……………運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は12百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は112百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ④に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用が38百万円、「その他」の営業費用が2百万円それぞれ減少し、営業利益がそれぞれ同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は83百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

b. 所在地別セグメント情報

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)				
	日本(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	45,080	3,539	48,620	—	48,620
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	358	366	(366)	—
計	45,089	3,898	48,987	(366)	48,620
営業費用	43,290	4,191	47,482	(366)	47,115
営業利益又は営業損失(△)	1,798	△293	1,504	—	1,504

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっておりますが、日本以外のいずれの国又は地域の売上高も全セグメントの売上高の合計額の10%未満であるため、その他の地域に一括して表示しております。

2 その他の地域の主なものは、米国、台湾、中国、イタリアであります。

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は12百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用が107百万円、「その他」の営業費用が5百万円それぞれ増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)④に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は41百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は83百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

### 増資引受による連結子会社株式の取得

当社は、平成20年7月25日開催の取締役会において、当社連結子会社であるベジタリア株式会社(Vegitalia S.p.A.)による1,996,254ユーロの増資を引き受けることを決議いたしました。この結果、同社に対する当社の総出資額は22億5百万円となり、当社資本金の10%を超える特定子会社となりました。

#### 1. 増資引受の理由

当第1四半期より連結子会社としたベジタリア社は設立以来赤字が続いており、この状況を打破するために、当社の経営支配による抜本的な経営再建が必要な状況であると判断いたしました。当社は、当社以外の主要な株主が所有するベジタリア社の株式を取得するとともに、同社の財務構造を強化するため、同社による増資を引き受けることといたしました。

#### 2. ベジタリア株式会社の概要

(1) 商号	Vegitalia S.p.A. (ベジタリア株式会社)
(2) 代表者	Masahiro Sumitomo (住友 正宏)
(3) 所在地	Zona industrial del Fullone-87018, San Marco Argentano (CS) Italy
(4) 設立年月日	平成15年9月13日
(5) 主な事業の内容	冷凍グリーン野菜の製造・販売
(6) 決算期	年1回 12月
(7) 従業員数	180名
(8) 主な事業所	本社及び工場 (住所は(3)に同じ)
(9) 資本金	10百万ユーロ
(10) 発行済株式総数	10百万株
(11) 大株主構成及び所有割合	当社49.24%、Erin S.r.l社41.52%、その他 9.24%
(12) 売上高	4百万ユーロ (平成19年12月期)

※上記項目(9)～(11)については平成20年3月末時点のものです。

#### 3. 平成20年4月1日以降の所有株式及び当社出資額の状況

	当社所有ベジタリア社株式			当社出資額 (百万円)	ベジタリア社	
	株式数 (千株)	議決権所有 割合(%)	取得価格 (千ユーロ)		資本金 (千ユーロ)	発行済株式数 (千株)
平成20年3月31日時点	4,924	49.2%	4,924	680	10,000	10,000
他株主からの株式取得 (平成20年6月21日)	4,176	41.7%	1,115	184	10,000	10,000
他株主からの株式取得 (平成20年6月24日)	500	5.0%	134	22	10,000	10,000
ベジタリア社減資 (注1) (平成20年6月27日)	—	—	—	—	—	10,000
増資引受 (平成20年6月27日)	6,000	1.5%	6,000	990	6,000	16,000
増資引受決議 (注2) (平成20年7月25日)	—	—	1,996	329	—	16,000
平成20年7月25日時点	15,600	97.5%	14,169	2,205	6,000	16,000

(注1) ベジタリア社の減資による当社連結財務諸表への影響はありません。

(注2) 平成20年7月25日の増資に関しては、株式の発行は行われず、当該増資資金は直接ベジタリア社の純資産の部に組み込まれます。

#### 4. 増資払込み時期

本増資に伴う資本金の払込み手続き等は平成20年7月末日までに完了予定です。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) 要約四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 売 上 高	52,972
II 売 上 原 価	27,290
売 上 総 利 益	25,681
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,225
営 業 利 益	4,455
IV 営 業 外 収 益	227
受 取 利 息 及 び 配 当 金	128
雑 収 入	98
V 営 業 外 費 用	442
支 払 利 息	45
た な 卸 資 産 廃 棄 損	160
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	204
雑 支 出	31
経 常 利 益	4,241
VI 特 別 利 益	0
VII 特 別 損 失	74
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	4,166
法 人 税 等	1,758
少 数 株 主 利 益	7
四 半 期 純 利 益	2,400

## (2) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

項 目	前第1四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,166
減価償却費	1,490
売上債権の増減額	△ 5,933
たな卸資産の増減額	△ 2,956
仕入債務の増減額	6,652
未払金の増減額	△ 329
その他の増加額	1,081
その他の減少額	△ 3,554
小 計	615
利息及び配当金の受取額	193
利息の支払額	△ 16
法人税等の支払額	△ 1,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,082
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 3,408
有価証券の売却による収入	0
固定資産の取得による支出	△ 1,272
固定資産の売却による収入	10
その他の投資等の増加額	43
その他の投資等の減少額	△ 216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,842
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入れによる収入	32
配当金の支払額	△ 1,382
少数株主への配当金の支払額	△ 57
その他の減少額	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,409
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 7,345
VI 現金及び現金同等物の期首残高	29,981
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	22,636



(3)セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

(単位：百万円)

	食品	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	52,542	429	52,972	—	52,972
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2	3,060	3,063	(3,063)	—
計	52,545	3,490	56,035	(3,063)	52,972
営業費用	48,332	3,247	51,580	(3,063)	48,516
営業利益	4,212	242	4,455	—	4,455

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1)食 品 …………… 飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2)そ の 他 …………… 運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不可能営業費用はありません。

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## 6. その他の情報

### (1) 主要な経営指標の推移 【連結経営指標等】

決算年月	平成19年6月	平成20年6月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月 予想
会計期間	自 平成19年 4月1日 至 平成19年 6月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 6月30日	自 平成18年 4月1日 至 平成19年 3月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	52,972	48,620	187,004	200,483	190,000
売上高伸び率 (%)	11.4	△8.2	12.3	7.2	△5.2
営業利益 (百万円)	4,326	1,504	8,668	8,786	7,200
売上高営業利益率 (%)	8.2	3.1	4.6	4.4	3.8
経常利益 (百万円)	4,241	1,682	8,296	8,366	7,000
売上高経常利益率 (%)	8.0	3.5	4.4	4.2	3.7
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (百万円)	4,166	1,483	7,673	7,964	6,500
売上高税金等調整前四半期 (当期) 純利益率 (%)	7.9	3.1	4.1	4.0	3.4
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	2,400	693	4,086	4,167	2,800
売上高四半期 (当期) 純利益率 (%)	4.5	1.4	2.2	2.1	1.5
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	24.10	6.96	45.08	41.85	28.12
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (%)	2.6	0.8	5.1	4.7	—
総資産経常利益率 (%)	2.7	1.1	5.9	5.9	—
総資産 (百万円)	161,463	149,697	153,219	138,682	—
純資産 (百万円)	94,245	90,584	92,399	90,378	—
自己資本比率 (%)	57.2	59.3	59.0	63.7	—
1株当たり純資産 (円)	927.53	890.69	908.07	887.26	—
四半期 (期末) 株価 (円)	1,946	1,529	1,875	1,778	—
株価収益率 (倍)	80.7	219.7	41.6	42.5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△899	1,608	8,881	2,225	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△4,842	△727	△8,513	△14,999	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△1,592	△1,786	14,103	△4,091	—
現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高 (百万円)	22,636	12,091	29,981	13,059	—
従業員数 (名)		2,094	2,002	1,904	—
〔外、平均臨時雇用者数〕		[1,330]	[644]	[1,134]	—
固定投資額 (百万円)	2,535	749	8,780	6,982	4,000
〔うち有形固定資産〕	[2,482]	[665]	[8,414]	[6,504]	[3,490]
減価償却費 (百万円)	1,673	1,700	6,325	7,471	6,290
〔うち有形固定資産〕	[1,546]	[1,569]	[5,832]	[6,943]	[5,720]
研究開発費 (百万円)		631	2,746	2,895	3,010
広告宣伝費 (百万円)	2,228	2,384	7,958	7,376	6,130

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 平成19年6月第1四半期、平成19年3月期及び平成20年3月期については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (2) 当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第1四半期 (百万円)	当第1四半期 (百万円)	増減率 (%)
当社						
カゴメ㈱ 食品製造業	19,985百万円  3月	—	売上高	49,668	44,031	△11.3%
			営業利益	3,760	1,423	△62.1%
			四半期純利益	2,357	997	△57.7%
			総資産	145,957	130,854	△10.3%
			純資産	90,333	88,962	△1.5%
連結子会社						
カゴメ不動産㈱ 不動産業	98百万円  2月	100%	売上高	262	255	△2.7%
			営業利益	70	87	+24.3%
			四半期純利益	51	61	+18.9%
			総資産	3,439	3,465	+0.7%
			純資産	2,053	2,193	+6.8%
カゴメ物流サービス㈱ 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業	80百万円  2月	100%	売上高	3,182	2,980	△6.3%
			営業利益	155	123	△20.8%
			四半期純利益	90	89	△0.8%
			総資産	3,960	4,033	+1.8%
			純資産	1,867	2,091	+12.0%
KAGOME INC. 食品製造販売業  (注2)	33百万 米ドル  12月	100%	売上高	1,903 [15,794千米ドル]	2,926 [27,796千米ドル]	+53.8% [+76.0%]
			営業利益	116 [969千米ドル]	△44 [△419千米ドル]	— —
			四半期純利益	60 [501千米ドル]	△35 [△336千米ドル]	— [—]
			総資産	5,830 [49,389千米ドル]	6,586 [65,735千米ドル]	+13.0% [+33.1%]
			純資産	2,403 [20,362千米ドル]	3,690 [36,830千米ドル]	+53.5% [+80.9%]
カゴメラビオ㈱ 食品製造販売業	98百万円  2月	100%	売上高	2,684	3,056	+13.8%
			営業利益	130	△21	—
			四半期純利益	103	△138	—
			総資産	13,336	12,681	△4.9%
			純資産	1,031	567	△44.9%
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル  12月	50.40%	売上高	582 [160百万台湾ドル]	548 [164百万台湾ドル]	△5.9% [+2.5%]
			営業利益	65 [17百万台湾ドル]	54 [16百万台湾ドル]	△16.1% [△8.6%]
			四半期純利益	50 [13百万台湾ドル]	44 [13百万台湾ドル]	△13.3% [△5.5%]
			総資産	2,852 [799百万台湾ドル]	2,883 [878百万台湾ドル]	+1.1% [+9.8%]
			純資産	2,501 [701百万台湾ドル]	2,282 [695百万台湾ドル]	△8.8% [△0.8%]
加太菜園㈱ 農産物の生産・販売	90百万円  2月	70.00%	売上高	234	288	+23.1%
			営業利益	63	111	+74.9%
			四半期純利益	58	103	+77.1%
			総資産	2,075	2,023	△2.5%
			純資産	△386	△413	—
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業  (注3)	17.1百万 米ドル  12月	61.00%	売上高	42 [2百万円]	84 [5百万円]	+96.6% [+106.1%]
			営業利益	△86 [△5百万円]	△65 [△4百万円]	— [—]
			四半期純利益	△86 [△5百万円]	△79 [△5百万円]	— [—]
			総資産	582 [38百万円]	952 [66百万円]	+63.4% [+74.8%]
			純資産	504 [33百万円]	886 [62百万円]	+75.8% [+88.0%]

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第1四半期 (百万円)	当第1四半期 (百万円)	増減率 (%)
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売	50百万円 2月	66.00%	売上高	153	316	+106.8%
			営業利益	16	87	+443.6%
			四半期純利益	△6	55	—
			総資産	1,596	2,553	+59.9%
			純資産	△263	△505	—
ケイ・エイチ デリカ(株) 惣菜店の経営	50百万円 2月	60.00%	売上高	—	13	—
			営業利益	—	△8	—
			四半期純利益	—	△8	—
			総資産	—	67	—
			純資産	—	61	—
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業 (注1)	10百万 ユーロ 12月	49.24%	売上高	59 [377千ユーロ]	338 [2,146千ユーロ]	+466.8% [+468.0%]
			営業利益	△170 [△1,081千ユーロ]	△251 [△1,597千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△327 [△2,098千ユーロ]	△347 [△2,206千ユーロ]	— [—]
			総資産	5,853 [37,205千ユーロ]	6,276 [39,675千ユーロ]	+7.2% [+6.6%]
			純資産	802 [5,103千ユーロ]	△477 [△3,017千ユーロ]	— [—]

持分法適用会社（関連会社）

世羅菜園(株) 農産物の生産・販売	85百万円 2月	47.06%	売上高	217	299	+37.4%
			営業利益	9	72	+635.3%
			四半期純利益	11	72	+550.3%
			総資産	1,676	1,693	+1.0%
			純資産	△106	△41	—
(有)いわき小名浜菜園 農産物の生産・販売	10百万円 2月	49.00%	売上高	270	420	+55.5%
			営業利益	△34	43	—
			四半期純利益	△45	27	—
			総資産	3,133	2,949	△5.9%
			純資産	△1,319	△1,353	—
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. 食品製造販売業	550千 ユーロ 12月	43.00%	売上高	— [—]	1,578 [10,012千ユーロ]	— [—]
			営業利益	— [—]	41 [265千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	— [—]	71 [455千ユーロ]	— [—]
			総資産	— [—]	7,793 [49,268千ユーロ]	— [—]
			純資産	— [—]	1,046 [6,614千ユーロ]	— [—]

- (注) 1. 当社は、Vegitalia S.p.A. について経営再建のため、当社執行役員を社長として派遣したことにより、当第1四半期より実質支配力基準に基づき子会社化したしました。
2. 当社は、KAGOME INC. に対し、平成20年1月に18百万米ドルの増資を行いました。
3. 当社及び少数株主は、可果美(杭州)食品有限公司に対し、平成20年3月に合計8.1百万米ドルの増資を行いました。そのうち当社による増資額は、4.9百万米ドルであります。これによる議決権の所有割合に変更はありません。
4. 前第1四半期については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 連結会計期間末 (平成19年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I	流 動 資 産							
	現 金 及 び 預 金	8,156		6,790		△ 1,365	5,863	
	受 取 手 形 及 び 売 掛 金	34,753		30,404		△ 4,348	26,322	
	有 価 証 券	14,624		5,338		△ 9,285	7,338	
	商 品 及 び 製 品	8,363		8,844		481	6,979	
	仕 掛 品	52		27		△ 24	37	
	原 材 料 及 び 貯 蔵 品	10,342		13,016		2,673	12,601	
	そ の 他	16,104		13,530		△ 2,573	10,308	
	貸 倒 引 当 金	△ 37		△ 93		△ 55	△ 92	
	流 動 資 産 合 計	92,358	57.2	77,859	52.0	△ 14,499	69,359	50.0
II	固 定 資 産							
	有 形 固 定 資 産							
	建 物 及 び 構 築 物	14,550		15,221		670	14,400	
	機 械 装 置 及 び 運 搬 具	17,702		17,858		155	17,283	
	工 具 、 器 具 及 び 備 品	923		876		△ 47	853	
	土 地	12,280		12,184		△ 95	12,190	
	リ ー ス 資 産	2,475		3,423		948	3,094	
	建 設 仮 勘 定	524		376		△ 148	152	
	有 形 固 定 資 産 合 計	48,456	30.0	49,941	33.4	1,484	47,975	34.6
	無 形 固 定 資 産							
	の れ ん	—		15		15	19	
	ソ フ ト ウ ェ ア	1,655		1,568		△ 86	1,589	
	そ の 他	358		469		110	452	
	無 形 固 定 資 産 合 計	2,013	1.3	2,054	1.4	40	2,061	1.5
	投 資 そ の 他 の 資 産							
	投 資 有 価 証 券	15,477		15,963		486	15,010	
	そ の 他	3,367		4,042		675	4,438	
	貸 倒 引 当 金	△ 209		△ 163		45	△ 163	
	投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	18,634	11.5	19,842	13.2	1,207	19,286	13.9
	固 定 資 産 合 計	69,105	42.8	71,837	48.0	2,732	69,322	50.0
	資 産 合 計	161,463	100.0	149,697	100.0	△ 11,766	138,682	100.0

## (3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 連結会計期間末 (平成19年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支払手形及び買掛金		24,372		18,759		△ 5,612	14,170	
短期借入金		2,396		4,515		2,119	2,487	
一年内返済予定の長期借入金		2,000		2,000		—	2,000	
未払金		12,895		10,799		△ 2,095	10,026	
未払法人税等		1,803		851		△ 952	162	
賞与引当金		1,406		1,210		△ 195	1,839	
役員賞与引当金		18		18		0	73	
その他の		4,307		2,777		△ 1,529	1,864	
流動負債合計		49,199	30.5	40,933	27.4	△ 8,265	32,624	23.5
II 固 定 負 債								
長期借入金		7,354		7,673		319	5,000	
退職給付引当金		2,693		2,544		△ 149	2,520	
負ののれん		73		—		△ 73	—	
その他の		7,898		7,961		63	8,158	
固定負債合計		18,019	11.1	18,179	12.1	159	15,679	11.3
負債合計		67,218	41.6	59,112	39.5	△ 8,105	48,303	34.8
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資本金		19,985	12.4	19,985	13.3	—	19,985	14.4
資本剰余金		23,733	14.7	23,733	15.9	—	23,733	17.1
利益剰余金		42,222	26.1	43,189	28.8	966	43,989	31.7
自己株式	△	35	△ 0.0	44	△ 0.0	△ 9	42	△ 0.0
株主資本合計		85,906	53.2	86,864	58.0	957	87,665	63.2
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金		2,187	1.3	1,585	1.1	△ 601	1,022	0.7
繰延ヘッジ損益		4,493	2.8	1,108	0.7	△ 3,385	△ 9	△ 0.0
為替換算調整勘定	△	218	△ 0.1	861	△ 0.6	△ 643	△ 323	△ 0.2
評価・換算差額等合計		6,462	4.0	1,832	1.2	△ 4,630	689	0.5
III 少 数 株 主 持 分		1,876	1.2	1,888	1.3	12	2,022	1.5
純資産合計		94,245	58.4	90,584	60.5	△ 3,660	90,378	65.2
負債純資産合計		161,463	100.0	149,697	100.0	△ 11,766	138,682	100.0

(注) 前連結会計年度末に係る要約連結貸借対照表及び前第1四半期連結会計期間末四半期連結貸借対照表は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (4) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		増 減		前連結会計年度の 連結損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	I 売上高	52,972	100.0	48,620	100.0	△ 4,351	△ 8.2	200,483
II 売上原価	27,490	51.9	26,892	55.3	△ 598		108,954	54.3
売上総利益	25,481	48.1	21,727	44.7	△ 3,753	△ 14.7	91,529	45.7
III 販売費及び一般管理費	21,155	39.9	20,222	41.6	△ 932		82,742	41.3
営業利益	4,326	8.2	1,504	3.1	△ 2,821	△ 65.2	8,786	4.4
IV 営業外収益								
受取利息	44		27		△ 17		221	
受取配当金	84		113		29		218	
持分法による投資利益	—		84		84		—	
その他	98		168		69		458	
営業外収益合計	227	0.4	394	0.8	166		897	0.5
V 営業外費用								
支払利息	76		151		74		375	
持分法による投資損失	204		—		△ 204		773	
休止資産減価償却費	—		50		50		—	
その他	31		14		△ 16		169	
営業外費用合計	312	0.6	216	0.4	△ 96		1,318	0.7
経常利益	4,241	8.0	1,682	3.5	△ 2,558	△ 60.3	8,366	4.2
VI 特別利益								
固定資産売却益	0		2		2		158	
その他	0		—		△ 0		1	
特別利益合計	0	0.0	2	0.0	2		159	0.1
VII 特別損失								
固定資産処分損	73		103		29		557	
リース会計基準適用に伴う影響額	—		98		98		—	
その他	0		—		△ 0		4	
特別損失合計	74	0.1	202	0.4	127		561	0.3
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,166	7.9	1,483	3.1	△ 2,683	△ 64.4	7,964	4.0
法人税、住民税 及び事業税	1,747		773		△ 973		1,721	
法人税等調整額	11		△ 2		△ 13		2,225	
法人税等合計	1,758	3.4	771	1.7	△ 987		3,946	2.0
少数株主利益 又は少数株主損失(△)	7	0.0	18	0.0	10		△ 150	△ 0.1
四半期(当期)純利益	2,400	4.5	693	1.4	△ 1,706	△ 71.1	4,167	2.1

(注) 前連結会計年度の連結損益計算書及び前第1四半期連結累計期間四半期連結損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。  
 なおこの組替えにより、前連結会計年度の売上総利益は1,334百万円減少し、営業利益が1,065百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、この組替えにより前第1四半期連結累計期間の売上総利益は199百万円減少し、営業利益が129百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## (5) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日至平成19年6月30日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
第1四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			2,400		2,400			2,400
自己株式の取得				△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の 第1四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						1,031	△ 90	941
第1四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	906	△ 1	904	1,031	△ 90	1,846
平成19年6月30日残高	19,985	23,733	42,222	△ 35	85,906	6,462	1,876	94,245

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
第1四半期連結累計期間 中の変動額	△ 275	1,368	△ 60	1,031
平成19年6月30日残高	2,187	4,493	△ 218	6,462

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年6月30日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378
第1四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			693		693			693
自己株式の取得				△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の 第1四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						1,142	△ 134	1,007
第1四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	△ 800	△ 1	△ 801	1,142	△ 134	206
平成20年6月30日残高	19,985	23,733	43,189	△ 44	86,864	1,832	1,888	90,584

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689
第1四半期連結累計期間 中の変動額	563	1,117	△ 538	1,142
平成20年6月30日残高	1,585	1,108	△ 861	1,832



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
当期純利益			4,167		4,167			4,167
自己株式の取得				△ 9	△ 9			△ 9
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△ 4,740	55	△ 4,685
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,673	△ 9	2,664	△ 4,740	55	△ 2,020
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
連結会計年度中の変動額	△ 1,440	△ 3,134	△ 166	△ 4,740
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689

## (6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>					
1 税金等調整前四半期(当期)純利益		4,166	1,483	△ 2,683	7,964
2 減 価 償 却 費		1,673	1,700	27	7,471
3 リース会計基準適用に伴う影響額		—	98	98	—
4 受 取 利 息 及 び 配 当 金	△	128	△ 141	△ 12	△ 439
5 支 払 利 息		76	151	74	375
6 賞与引当金の増減額(△は減少)	△	1,201	△ 741	460	△ 713
7 その他の引当金の増減額(△は減少)		61	35	△ 26	△ 50
8 持分法による投資損益(△は利益)		204	△ 84	△ 288	773
9 固 定 資 産 処 分 損		73	103	29	557
10 売上債権の増減額(△は増加)	△	5,933	△ 3,927	2,006	2,460
11 たな卸資産の増減額(△は増加)	△	2,956	△ 2,076	879	△ 3,950
12 未収入金の増減額(△は増加)	△	1,097	241	1,339	2,092
13 仕入債務の増減額(△は減少)		6,652	5,250	△ 1,401	△ 7,924
14 未払金の増減額(△は減少)	△	329	401	730	△ 2,914
15 その他の流動資産の増減額(△は増加)	△	700	△ 1,278	△ 577	69
16 その他の流動負債の増減額(△は減少)		406	769	362	168
17 そ の 他 の 増 加 額		93	32	△ 61	198
18 そ の 他 の 減 少 額	△	231	△ 161	70	△ 268
小 計		829	1,856	1,026	5,870
19 利息及び配当金の受取額		193	139	△ 53	508
20 利息の支払額	△	48	△ 107	△ 59	△ 376
21 法人税等の支払額	△	1,874	△ 280	1,594	△ 3,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	899	1,608	2,508	2,225
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>					
1 有価証券の取得による支出	△	3,408	△ 2	3,405	△ 5,297
2 有価証券の売却による収入		0	103	103	38
3 固定資産の取得による支出	△	1,272	△ 798	473	△ 8,527
4 固定資産の除却による支出		—	△ 13	△ 13	—
5 固定資産の売却による収入		10	7	△ 3	23
6 貸付による支出	△	200	△ 87	112	△ 3,106
7 貸付金の回収による収入		13	56	43	2,006
8 そ の 他 の 増 加 額		30	7	△ 22	23
9 そ の 他 の 減 少 額	△	16	△ 1	15	△ 159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	4,842	△ 727	4,115	△ 14,999

(単位：百万円)

項 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
Ⅲ	財務活動によるキャッシュ・フロー				
	1 借入れによる収入	32	1,370	1,338	4,600
	2 借入金の返済による支出	—	△ 1,439	△ 1,439	△ 6,696
	3 少数株主からの払込みによる収入	—	—	—	364
	4 ファイナンス・リース債務の 返済による支出	△ 183	△ 238	△ 55	△ 810
	5 配当金の支払額	△ 1,382	△ 1,423	△ 41	△ 1,483
	6 少数株主への配当金の支払額	△ 57	△ 54	3	△ 57
	7 自己株式の取得による支出	△ 1	△ 1	0	△ 9
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,592	△ 1,786	△ 193	△ 4,091
Ⅳ	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 79	△ 67	△ 55
Ⅴ	現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 7,345	△ 983	6,362	△ 16,922
Ⅵ	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	15	15	—
Ⅶ	現金及び現金同等物の期首残高	29,981	13,059	△ 16,922	29,981
Ⅷ	現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	22,636	12,091	△ 10,544	13,059

(注) 前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (7) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	1,398	2.6	861	1.8	△ 537	△ 38.4	4,757	2.4
販 売 促 進 費	8,206	15.5	7,414	15.2	△ 791	△ 9.6	33,619	16.8
広 告 宣 伝 費	2,228	4.2	2,384	4.9	156	7.0	7,376	3.7
運 賃 ・ 保 管 料	2,745	5.2	2,626	5.4	△ 118	△ 4.3	10,345	5.2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	3	0.0	9	0.0	5	145.1	25	0.0
人 件 費	3,504	6.6	3,660	7.5	155	4.4	14,216	7.1
減 価 償 却 費	474	0.9	381	0.8	△ 92	△ 19.5	2,003	1.0
そ の 他	2,593	4.9	2,884	5.9	291	11.2	10,397	5.2
合 計	21,155		20,222		△ 932		82,742	

(注) 1. 百分比は、売上高に対する割合です。

2. 前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
製 品 及 び 製 品	12	19	203
原 材 料	73	16	687
輸 入 雑 損 失 等	75	99	295
合 計	160	134	1,186

(注) 前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

## (9) 支払利息明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
支 払 利 息	45	117	253
リ ー ス 支 払 利 息	31	33	121
合 計	76	151	375

(注) 前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(10) 有価証券関係

前連結会計年度末(平成20年3月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,440	12,147	1,707
その他	137	142	4
計	10,578	12,290	1,711

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,441	13,094	2,652
その他	32	37	4
計	10,474	13,131	2,656

## (11) セグメント別売上高

事業の種類		前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	構成比(%)
飲料	外部顧客に対するもの	27,686		22,988		△ 4,698	△ 17.0	98,761	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	27,686	49.4	22,988	44.7	△ 4,698	△ 17.0	98,761	46.7
乳酸菌	外部顧客に対するもの	4,085		3,306		△ 778	△ 19.1	15,495	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	4,085	7.3	3,306	6.5	△ 778	△ 19.1	15,495	7.3
食品	外部顧客に対するもの	7,629		7,072		△ 557	△ 7.3	29,008	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	7,629	13.6	7,072	13.8	△ 557	△ 7.3	29,008	13.7
ギフト	外部顧客に対するもの	2,150		2,054		△ 96	△ 4.5	7,175	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	2,150	3.9	2,054	4.0	△ 96	△ 4.5	7,175	3.5
業務用	外部顧客に対するもの	7,625		9,007		1,382	18.1	34,397	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	7,625	13.6	9,007	17.5	1,382	18.1	34,397	16.3
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	1,986		2,226		240	12.1	6,650	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	1,986	3.5	2,226	4.3	240	12.1	6,650	3.1
通販	外部顧客に対するもの	1,295		1,408		112	8.7	6,304	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	1,295	2.3	1,408	2.7	112	8.7	6,304	3.0
その他	外部顧客に対するもの	83		66		△ 16	△ 19.9	435	
	セグメント間取引	2		1		△ 1		10	
	計	86	0.2	68	0.1	△ 17	△ 20.8	445	0.2
食品セグメント計	外部顧客に対するもの	52,542		48,130		△ 4,412	△ 8.4	198,229	
	セグメント間取引	2		1		△ 1		10	
	計	52,544	93.8	48,131	93.6	△ 4,413	△ 8.4	198,239	93.8
物流	外部顧客に対するもの	260		324		64	24.7	1,709	
	セグメント間取引	2,922		2,655		△ 266		10,319	
	計	3,182	5.7	2,980	5.8	△ 201	△ 6.3	12,029	5.7
不動産	外部顧客に対するもの	169		165		△ 3	△ 2.2	544	
	セグメント間取引	138		135		△ 3		557	
	計	307	0.5	300	0.6	△ 7	△ 2.3	1,102	0.5
その他セグメント計	外部顧客に対するもの	429		490		60	14.1	2,254	
	セグメント間取引	3,060		2,791		△ 269		10,877	
	計	3,490	6.2	3,281	6.4	△ 208	△ 6.0	13,131	6.2
セグメント売上高		56,035	100.0	51,413	100.0	△ 4,622	△ 8.2	211,370	100.0
セグメント間取引		△ 3,063	—	△ 2,792	—	271		△ 10,887	—
連結売上高		52,972	—	48,620	—	△ 4,351	△ 8.2	200,483	—

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事㈱	12,680	23.9	10,884	22.4	45,969	22.9

## (12) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期
	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年1月1日 至平成20年3月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	52,972	57,170	48,755	41,586	200,483
(対前年同期増減率)	(11.4%)	(8.3%)	(9.6%)	(△1.4%)	(7.2%)
営業利益	4,326	3,102	2,662	△1,304	8,786
(対売上高比率)	(8.2%)	(5.4%)	(5.5%)	(△3.1%)	(4.4)%
経常利益	4,241	3,247	2,374	△1,496	8,366
(対売上高比率)	(8.0%)	(5.7%)	(4.9%)	(△3.6%)	(4.2%)
税金等調整前当期純利益	4,166	3,304	2,353	△1,860	7,964
(対売上高比率)	(7.9%)	(5.8%)	(4.8%)	(△4.5%)	(4.0%)
当期純利益	2,400	2,022	1,101	△1,356	4,167
(対売上高比率)	(4.5%)	(3.5%)	(2.3%)	(△3.3%)	(2.1%)

(注) 前連結会計年度の第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間、第3四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間及び通期実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	(*)第2四半期 連結会計期間予想	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期予想
	(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	(自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	48,620	52,380			190,000
(対前年同期増減率)	(△8.2%)	(△8.4%)			(△5.2%)
営業利益	1,504	1,296			7,200
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.5%)			(3.8%)
経常利益	1,682	1,218			7,000
(対売上高比率)	(3.5%)	(2.3%)			(3.7%)
税金等調整前当期純利益	1,483	1,217			6,500
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.3%)			(3.4%)
当期純利益	693	407			2,800
(対売上高比率)	(1.4%)	(0.8%)			(1.5%)

(\*) 第2四半期連結会計期間予想は、公表している第2四半期連結累計会計期間予想から第1四半期連結会計期間実績を差し引いた数値であります。

## (13) 事業別連結営業利益

(単位：百万円)

## 平成21年3月期第1四半期連結累計期間（実績）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	556	-	48,620
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,792	△2,792	-
計	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	3,349	△2,792	48,620
II 営業費用	27,456	6,553	8,904	2,531	1,364	3,098	△2,792	47,115
営業利益	892	518	103	△304	44	250	-	1,504
売上高営業利益率(%)	3.2%	7.3%	1.1%	△13.7%	3.1%	7.5%	-	3.1%

## 平成21年3月期第2四半期連結累計期間（予想）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	61,600	13,500	17,500	3,700	3,400	1,300	-	101,000
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	5,700	△5,700	-
計	61,600	13,500	17,500	3,700	3,400	7,000	△5,700	101,000
II 営業費用	60,200	12,400	17,800	4,100	2,900	6,500	△5,700	98,200
営業利益	1,400	1,100	△300	△400	500	500	-	2,800
売上高営業利益率(%)	2.3%	8.2%	△1.7%	△10.8%	14.7%	7.1%	-	2.8%

## 平成21年3月期通期（予想）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	110,300	27,200	36,800	7,100	6,300	2,300	-	190,000
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,700	△10,700	-
計	110,300	27,200	36,800	7,100	6,300	13,000	△10,700	190,000
II 営業費用	106,800	24,900	36,800	7,800	5,000	12,200	△10,700	182,800
営業利益	3,500	2,300	0	△700	1,300	800	-	7,200
売上高営業利益率(%)	3.2%	8.5%	0.0%	△9.9%	20.6%	6.2%	-	3.8%

## 平成20年3月期通期（新基準実績）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	2,689	-	200,483
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,887	△10,887	-
計	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	13,577	△10,887	200,483
II 営業費用	115,880	27,098	33,815	7,456	5,585	12,746	△10,887	191,696
営業利益	5,551	1,910	581	△806	719	830	-	8,786
売上高営業利益率(%)	4.6%	6.6%	1.7%	△12.1%	11.4%	6.1%	-	4.4%



## 当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的  
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの  
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見  
通しのみに全面的な依拠することは控えるようお願い致しま  
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績  
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきく  
ださい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のよ  
うなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②  
異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情  
勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激  
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品  
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などで  
す。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるも  
のではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く  
理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めす  
るためのものではありません。さらに当資料に記載されている  
市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正  
確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の  
予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なし  
に変更することがありますので注意ください。